

2022年2月22日

明日香村「旧大鳥家住宅」（ブランシェラ ヴィラ 明日香） 登録有形文化財に登録

このたび、株式会社長谷工コーポレーション（本社：東京都港区、社長：池上一夫）が所有し、復元・改修後、古民家ホテル「ブランシェラ ヴィラ 明日香」として開業予定の「旧大鳥家住宅（主屋、離れ）」が、明日香村で初の登録有形文化財（建造物）に登録されました。（2022年2月17日官報告示）

2021年11月19日、文化審議会が文部科学省に国の登録有形文化財（建造物）に登録するよう答申されておりましたが、今般、正式に登録有形文化財として登録されたものです。

■名称：旧大鳥家住宅主屋 及び 旧大鳥家住宅離れ

旧大鳥家住宅は飛鳥坐神社（あすかにいますじんじゃ）参道に北面して建つ町屋。厨子^{つし}2階建て、切妻造棧敷瓦葺とし、土間上に煙出しを設け、軒裏を漆喰で塗籠め、虫籠窓を開ける。内部は通り土間と床上を整形四間（よま）取りとする。離れは納屋、座敷、厩舎、物入れからなり、虫籠窓で外観を飾る。参道の歴史的景観を今に伝え、奈良盆地らしい囲い造りの屋敷。（文化審議会答申より抜粋）

所在地：奈良県高市郡明日香村大字飛鳥六六〇

建築年代：明治3年／令和3年改修

構造・形式：木造2階建て、瓦葺き

建築面積：主屋 79 m² 離れ 66 m²

■登録有形文化財登録までの動き

大字飛鳥に位置する旧大鳥家住宅。敷地は間口5間半（10.45m）、奥行15間（30.20m）と奥に長い。1870年（明治3年）に呉服商により建てられたと口伝され、その後、1904年（明治37年）に大鳥家に所有権移転される。大鳥家が転居され、空き家となった当該建物は一時期日本料理店として利用もされたが閉店後は再び空き家となり、2018年に明日香村空き家バンクに登録されていた本件を2019年 当社が売買により取得。

2017年 明日香村・明日香村地域振興公社・長谷工コーポレーションによる官民連携の包括協定に基づく明日香村活性化施策として空き家問題や宿泊施設不足解消に向け古民家ホテルとして計画。

歴史的価値があることを見い出し、通路棟など増築部を取り除き、主屋と離れについて限界体力計算法による耐震補強を実施し、腐朽部の補修、土壁を用いた伝統構法に沿った修理を施すなど可能な限り復元・保存を図る計画をたて2020年8月から改修工事を行ない2021年2月に竣工。

登録有形文化財登録を目指してきたが、このたび正式に文化財登録原簿に登録された。

なお「旧大鳥家住宅」は、古民家ホテル「ブランシェラ ヴィラ 明日香」として主屋・離れを活用した2邸からなるホテルに生まれ変わり、2022年3月18日に文化財の宿としてグランドオープンを迎えることとなる。



【旧大鳥家住宅 主屋】



【旧大鳥家住宅 離れ】